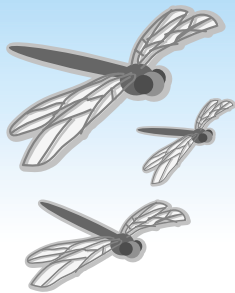


INTER KYOTO

インターキョウト

2008.10.1 No.39

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会



CONTENTS

会長直言 地球環境の維持と産業発展の調和	1
開催報告	2
第1回経営研究会	
技術セミナー	
OSC基盤改革セミナー・京都	
開催報告	3
第1回情報交換広場	
SE/システム高度化研究会キックオフセミナー	
第2回経営研究会	
協会だより	4
ANIA北海道大会	
グリーンサミット開催報告	
お知らせ	
新会員の紹介	
ミニボエム / 編集後記	

会長直言

地球環境の維持と産業発展の調和 (社 京都府情報産業協会 会長 長谷川 亘)

サブプライム問題に端を発する世界的な金融危機のおそれなど、事業展開や経営環境に影響を及ぼすような出来事が国内外で相次いでおりますが、会員企業の皆様におかれましては、事業の発展に向けて、力強く邁進されていることと拝察いたします。

さて、10月は情報化月間です。これは経済産業省など1府5省が情報化に関する国民の正しい認識と理解の醸成を目的として推進するものであり、今年で37回目となります。

今年のテーマは、「Global、Open、Green!」とされています。ITの発展は経済のグローバル化を実現しましたが、わが国の産業がこの変化に対応し、競争力を維持するためには、ITの活用による企業活動のグローバル化の更なる促進が必須となります。また、ご存じのとおり、今や生活のあらゆる局面にコンピュータが入り込んでおり、ITによって私たちの生活は劇的に変容しております。ユビキタス社会をより豊かなものとするためには「ITによる生活環境のオープン化」をさらに推進する必要があります。

こうした課題に加えて、今年の情報化月間のテーマで特徴的なのは、「Green」即ち環境問題への取組みが課題の一つと

して取り上げられている点です。9月に入っても暑い日が続き、温暖化対策促進の必要性を実感することが増えました。産業の発展と地球環境の維持という異なるテーマの調和を図ることは困難なことではありますが、緊急の課題といえます。自動車産業における組込みシステムの活用例などを見ても、私たちが携わる情報産業は、地球環境の維持と産業の発展の調和を図るうえで重要な役割を担っているといえます。



今年の情報化月間のテーマに「Green!」が加えられたことは、情報産業に対する社会の期待の大きさを反映しており、情報産業に携わる私たちの果たすべき責任の重さと、情報産業のさらなる発展の大きな可能性を強く感じる次第です。冒頭に述べましたとおり、私たちを取り巻く環境は激動しています。会員企業の皆様と力をあわせて、情報産業の発展に尽くして参りたいと存じます。

第1回 経営研究会

開催報告

主催：経営委員会

田中久喜氏



日時：7月17日(木) 17:00～19:00
会場：京都コンピュータ学院京都駅前校 新館4F会議室
テーマ：「受託ソフト開発における工事進行基準について」
講師：田中久喜氏 田中久喜税理士事務所
参加者：19社 32名

第1回の経営研究会は、2009年4月(予定)から施行される「工事進行基準」について田中久喜税理士を講師に招き開催しました。ソフトウェア受託開発の場合、収益計上の方法には、「工事進行基準」と「工事完成基準」の2種類があり、ほとんどの企業で「工事完成基準」が適用されていました。それが来年から新しくなるということで、会場の椅子が一杯になるほどの多数の参加があり、皆さんの関心の高さを実感しました。質疑応答も真剣に討議され、大変有意義な研究会となりました。



技術セミナー

開催報告

主催：技術委員会

新堀 聡氏



日時：7月18日(金) 15:30～17:00
会場：平安会館 白河の間
テーマ：「入力革命」
～広がるデジタル(アノト方式)ペンの技術とその利用事例～
講師：新堀 聡氏 日本ユニシス(株) ビジネスディベロップメントセンター
ビジネス開発二室 室長
参加者：67名

平安会館において平成20年度技術セミナーを開催しました。新堀聡氏を講師に迎え、「入力革命」をテーマにお話をいただきました。デジタル革命の進展に伴い人とコンピュータのかかわりが急速に拡大するなか、誰でもが参加できる情報技術社会を拓くためには新たな「入力革命」が必要として、情報技術社会とのインターフェースである入力の問題に着目し、アノト方式デジタルペンに焦点を当て、新しい技術の動向と活用事例、今後の展開などを、デモンストレーションを交えてご覧いただきました。セミナー終了後も講師を囲んで質問が相次ぎました。

『OSC基盤改革セミナー・京都』開催報告

日時：8月1日(金) 13:00～17:00
会場：平安会館 朱雀の間
テーマ：「地域主導で実現する、オープンスタンダードによるIT基盤改革」
講演：「京都府と市町村がともに取り組むシステムの共同化について」
講師：原田 智氏 京都府 政策企画部業務推進課 課長
パネルディスカッション：「真のネットワーク社会を実現するために」
主催：OSC(オープンスタンダード・コンソーシアム)
共催：京都府情報産業協会
後援：京都府、京都市、京都新聞社
参加者：60名

OSC(オープンスタンダード・コンソーシアム)主催による「地域主導で実現する、オープンスタンダードによるIT基盤改革」をテーマとして開催され、京情協が共催しました。オープンスタンダードによる電子自治体のIT基盤改革とは何か、また、それを地域主導で実現するにはどうすべきかを、政策や技術、他自治体の事例などの側面から解説され、これをもとにパネルディスカッションが行われました。京都府から、「京都府と市町村がともに取り組むシステムの共同化について」の京都府の目指す行政運営の一環である「改革を支援する各システム」及び「府・市町村



共同化推進体制」についての講演がなされました。また、パネルディスカッションでは、9名のパネラーと聴講者を交えて『真のネットワーク社会を実現するために』をテーマに、快適かつコスト効率の高いネットワーク社会を創っていくために、ネットワーク社会の主要プレイヤーである自治体は、「業務の効率化」や「市民サービス向上」などを実現するために「ITの導入/イノベーション活用をどう進めるべきか」について議論され、有意義なセミナーとなりました。

第1回 情報交換広場

開催報告

主催：経営委員会

日時：8月21日(木) 17:00～19:00
会場：京都コンピュータ学院京都駅前校 新館4F会議室
テーマ：「採用・人材育成について」

今回の情報交換広場開催にあたり、会員各社から事前にアンケートを行い、この集計結果をもとに、参加各社の採用・人材育成についての現状や検討状況について報告がありました。

「採用」については、近年の売り手市場や採用時期の早期化が定着し、応募者の減少やIT業界自体に人気がないことも起因して、全般的に各社とも苦戦していることが伺えました。また、「教育・人材育成」においても昨今オープン化が加速し、インフラや技術の多様化に伴って厳密な社内教育体制を確立できないとの声も聞かれ、業務が優先したりOJTに委ねているなど、各社難しい問題を抱えている状況が意見交換に表れました。

今回のテーマは、経営上継続検討していく課題であり、意見交換により改めて難しい問題であることを伺い知ることができ、大変有意義な情報交換の場となりました。



SE/システム高度化研究会 キックオフセミナー

開催報告

主催：技術委員会

平成20年度 「SE/システム高度化 研究会」がスタート



福永 正氏



三宅雅文氏

日時：9月9日(火) 16:00～18:00
会場：平安会館 白河の間
テーマ：「プロジェクトマネジメントの真髄」
なぜPMに失敗するか / PMの成功は人間力ありき
講師：福永 正氏 (株)富士通四国インフォテック顧問、NPO法人ITCかがわ専務理事
テーマ：「成功する小規模オフショア開発」
「大連方式」とその成果実績 / 100万円以下のオフショア開発
講師：三宅雅文氏 (株)富士通四国インフォテック、NPO法人ITCかがわ会員

「SE/システム高度化研究会」キックオフセミナーが平成20年9月9日(火)午後4時から平安会館で開催されました。研究会は京都府民も参加いただけるオープンなセミナーで、作る側、使う側、企業の枠を超えて研究テーマを掘り下げ、交流をはかることが目的です。研究会に先立って開催したキックオフセミナーでは56名が参加され、福永正氏から「プロジェクトマネジメントの真髄」、三宅雅文氏からは「成功する小規模オフショア開発」をテーマに熱心なお話をいただきました。セミナー終了後は、研究会参加者の顔合わせを行いました。研究会は9月中旬から12月まで、3つのテーマ別に各々4回の研究会を開催し、来年2月にはこの成果を発表します。

第2回 経営研究会

開催報告

主催：経営委員会

山崎忠夫氏



日時：9月18日(木) 17:30～19:30
会場：メルパルク京都 4階研修室
テーマ：「偽装請負と委託契約について」
講師：山崎忠夫氏 中小企業診断士、社会保険労務士
参加者：15社 27名



第2回経営研究会は「偽装請負と派遣契約について」のテーマで中小企業診断士、社会保険労務士の山崎忠夫氏にご講演、ご教授いただきました。企業リスクは偽装請負のみならず、派遣法違反・偽装出向・二重派遣など多岐にわたっています。今回は派遣・請負の両面から契約・管理の考え方のポイントを学習し、雇用促進しなければならないことを前提とした派遣法であることを痛感しました。質疑応答も活発で会員各位の関心の高さが窺え、たいへん有意義な研究会となりました。

協会だより

正会員 66社
特別会員 2名
賛助会員 14社

事業推進委員をはじめ会員皆様の積極的な
会員増強運動により、成果を得ることができました。
今後も入会紹介や勧誘にご協力をお願いします

グリーンサミット開催報告

実施日：9月13日(土)
場所：朝日野カントリー倶楽部
参加者：19名(5組)
天候：曇りのち晴れ



小雨のパラツク空模様も時間が経つにつれ徐々に回復し、初秋の気配を感じられるますますのゴルフ日和となりました。昨年同様5組19名の参加者によりダブルベリアによる競技が繰り広げられ、プレーの合間にもお互いに和気藹々と会話が弾み、大変楽しく有意義なグリーンサミットを開催することができました。今年も長谷川会長ならびに北山副会長、畑山副会長、古川副会長からご厚志を頂戴し、趣向を凝らした豪華賞品をお渡しすることができ、優勝者の弁を皮切りに全員からスピーチをいただくなど、表彰パーティも盛り上がりしました。

成績

優勝 北山寛巳氏 (株)けいしんシステムリサーチ
準優勝 和田壽郎氏 京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院
第3位 木下 豊氏 (株)エクザム

お知らせ

経済産業省情報化月間協賛

京都情報化オープンセミナー開催

開催日時：10月17日(金) 15:30～19:00
会場：平安会館 白河の間
テーマ：「WIMAXをはじめとするネットワーク基盤整備の最新動向」
講師：片山英郎氏 総務省総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 国際係長

第3回経営研究会 開催

開催日時：11月20日(木) 15:00～17:00
会場：京都コンピュータ学院 京都駅前校 新館4階会議室
テーマ：「ITスキル標準について」
講師：未定

恒例イベント 第11回 ボウリング大会 開催

日時：11月21日(金) 19:00スタート(予定)
会場：MKボウル上賀茂(京都市北区上賀茂西河原)
*詳細は後日お知らせします。

平成20年度 新春オープンセミナー

日時：2009年1月16日(金) 15:30～17:00
会場：平安会館
テーマ：「楯円球の詩(うた)」
～ラグビーに学ぶリーダーシップ～(予定)
講師：NPO法人ヒーローズ 理事長 林 敏之氏
(元ラグビー日本代表キャプテン)

「ANIA北海道大会」開催報告

ANIA北海道大会は、6月25日(水)、26日(木)の2日間に亘り北海道厚生年金会館をメイン会場として開催され、全国から170



名の情報産業団体関係者が集った。京情協から京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院の4名が参加し、全国の地域情報産業団体関係者との交流を深めた。今回は省エネ大会をモットーに実質的な会員間の情報並びに意見交換を重点的に行い、コンパクトながらも中身の濃い大会であった。事例発表に続いて行われたグループセッションでは、各県の課題や活動について一歩踏み込んだ討論が展開され、参加者にとっては非常に有益な交流の場となった。

なお、スケジュールに予定されていなかったが、当日午前9時から約1時間北海道情報産業協会事務局において、総務省地方情報化推進室長 青山忠幸氏と地域プラットフォームの推進等について意見交換の時間が設けられた。席上地方のIT産業の厳しい実態について、生の声を中央行政に伝える機会となった。次回は京情協からも多くのメンバーが参加されることが期待される。

新会員の紹介

正会員

平成20年7月入会

会社名：アリスタソリューション(株)
代表者：代表取締役 武内 寿憲
所在地：京都市中京区西ノ京東中合町81 デリブ西大路ビル2階
URL：http://www.arista-sol.com

Coffee break

～ミニ・ホエム～



たとえば
皿にあたったスプーンの高い音が
僕ときみのあいだを抉る
重たく 澱んでいた 空気が
果てしなく 透明となり
にわか雨のように 饒舌になる
黙る僕らのかわりに

編集後記

「秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる()」異常なほどの暑さやピンポイントの集中豪雨等、いろいろあった今年の夏もようやく終わろうとしています。これから年末にかけて情報化セミナーを始めとする各種行事が計画されておりますが、会員の皆様にも積極的にご参加いただきたく、広報委員会からあらためてお願いいたします。()古今和歌集の藤原敏行から転載

京情協 WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp/>